

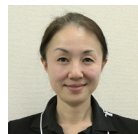


テーマ  
こども

## 子どもの目線で震災の記憶を伝える「石巻日日こども新聞」

### 一般社団法人 キッズ・メディア・ステーション

企画、取材、執筆…、新聞づくりの  
全ての過程に子どもたちが挑戦  
する「石巻日日こども新聞」の制作  
費をご支援ください。



一般社団法人  
キッズ・メディア・ステーション  
代表理事：太田倫子

石巻市出身。企業での海外勤務の経験を活かし、石巻の復興を担う子どもたちが、世界に通用するコミュニケーション力を身につけ情報発信できるようサポートを続ける。

### 減少する被災地からの情報発信

宮城県内で最大の人的被害をだした宮城県石巻市。その石巻が、震災から3年目を迎えるいまだんな様子なのか皆さんご存知でしょうか。石巻の情報は皆さんに届いていますか。

残念なことですが東北地方を除くと震災の記憶の風化がどんどん進んでいます。報道が少なく被災地の様子が伝わらないので、復興は順調に進んでいると思っている方もいると聞きました。しかし石巻は未だ多くの課題を抱えており、まだまだ地域外からの支援を必要としています。

多くの課題のなかでも私が特に深刻だと思っているのは、東日本大震災とその後の生活が子どもたちの心

に及ぼした影響です。大人が緊急事態の解決に奔走している様子、生活の立て直しに絶望している様子などに接することにより、子どもたちは「思い出したくない」「大人が大変だから自分は我慢しなければならぬ」と思いを自分の中に閉じ込めてしまっています。

子どもたちが震災の経験乗り越えるためには、その経験と想いを外に出すことが必要ではないか。また、子どもたち自身が震災で経験したことや感じたことを表現し発表するメディアを持ち、そのメディアで震災を経験していない人たちに向けて発信をすることは、将来多くの人々を救う力になるのではないかと考えて始めたのが「石巻日日こども新聞」の活動です。

### 子どもたちが発信する石巻の様子「石巻日日こども新聞」

石巻市の子どもたちに呼びかけてこども記者を募り、地元新聞社である石巻日日新聞の協力を得、震災から1年後の2012年3月11日に「石巻日日こども新聞」を創刊しました。企画会議から取材、写真撮影、執筆まで全ての過程でこども記者たちが中心になって作成します。2013年2月末までに4号発行しています。「石巻の魅力を伝えたい」「石巻をもっと多くの人に知ってもらいたい」と、回を重ねるごとに子どもたちの「伝える使命感」が高まっていると感じています。

こども記者の活動を通して、子どもたちの創る力、伝える力、つながる力を育み、子どもの視点での震災の経験や石巻が復興していく日々を発信することにより震災の記憶を残し、風化を防ぐ。

石巻日日こども新聞を継続して発行できるよう、  
制作費のご支援をお願いいたします。

### こども記者(小学5年生)の声

ぼくたちのとても身近なところにある「新聞」を「作る」というめったにできない活動に、みんなで参加できることがうれしく、感動しました。これからも続けていきたいと思えます。ぜひ読んでください。



目標金額 **115万円**

### 寄付特典

♡ 10,000円寄付すると

- ①石巻日日こども新聞(年4回発行)を各100部お届けします
- ②石巻日日こども新聞とのタイアップ企画ができる権利
- ③石巻日日こども新聞の企画を考えるワークショップに参加できる権利

一般社団法人 キッズ・メディア・ステーション (代表理事：太田倫子) .....

所在地：宮城県仙台市

ホームページ：kodomokisha.net/

事業地：宮城県石巻市、東松島市、女川町

フェイスブック：www.facebook.com/kidsmediastation

【銀行】七十七銀行 本店営業部 (普) **9503595**

一般財団法人地域創造基金みやぎ 代表理事 大滝 精一

【郵便】記号 **02270-3-134826**

一般財団法人地域創造基金みやぎ 通信欄：**新聞**

クレジット・現金書留でも受け付けております ⇒ 14ページ参照